（固　定　資　産）		**1,088,998,190**
有　形　固　定　資　産		22,636,396
建　　物	事務所内部造作	20,229,870
工具・器具・備品		2,406,526
無　形　固　定　資　産		1,066,361,794
ソ　フ　ト　ウ　ェ　ア	口座情報連携システム等	907,814,560
ソフトウェア仮勘定	口座情報連携システム等	158,547,234
資　産　合　計		**1,697,329,600**

負　債　の　部

区　分	摘　要	金　額
（流　動　負　債）		**1,117,529,254**
短　期　借　入　金		900,000,000
未　払　金	一般管理費	194,805,991
賞　与　引　当　金		22,723,263
（固　定　負　債）		
退　職　給　与　引　当　金		59,408,418
負　債　合　計		**1,176,937,672**
正　味　財　産		**520,391,928**

貸　借　対　照　表

（令和８年３月31日現在）

（単位：円）

資　産　の　部		負債及び純資産の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
（流　動　資　産）	**608,331,410**	**（流　動　負　債）**	**1,117,529,254**
現　金　・　預　金	308,710,527	短　期　借　入　金	900,000,000
未　収　金	299,620,883	未　払　金	194,805,991
（固　定　資　産）	**1,088,998,190**	賞　与　引　当　金	22,723,263
有　形　固　定　資　産	22,636,396	**（固　定　負　債）**	
建　　物	20,229,870	退　職　給　与　引　当　金	59,408,418
工具・器具・備品	2,406,526	**（負　債　合　計）**	**1,176,937,672**
無　形　固　定　資　産	1,066,361,794	**（剰　余　金）**	
ソ　フ　ト　ウ　ェ　ア	907,814,560	利　益　剰　余　金	
ソフトウェア仮勘定	158,547,234	積　立　金	520,391,928
		（純　資　産　合　計）	**520,391,928**
資　産　合　計	**1,697,329,600**	**負債・純資産合計**	**1,697,329,600**

損　益　計　算　書

（自令和７年４月１日　至令和８年３月31日）

（単位：円）

費　用　の　部		収　益　の　部	
科　目	金　額	科　目	金　額
（経　常　費　用）	**1,316,253,770**	**（経　常　収　益）**	**694,088,874**
一　般　管　理　費	1,313,762,868	政　府　受　託　収　入	694,087,413
事　業　外　費　用		事　業　外　収　益	
借　入　金　利　息	2,490,902	雑　　益	1,461
（特　別　損　失）		**（当　期　損　失　金）**	**622,176,328**
固定資産除却損	11,432		
合　　計	**1,316,265,202**	**合　　計**	**1,316,265,202**

㈱　当期損失金622,176,328円は、公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律第四章に規定する預金保険機構の業務の特例等に関する命令（令和３年内閣府令・財務省令第３号）第３条第２項の規定により、積立金から減額して整理する。

○重要な会計方針

１．固定資産の減価償却方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は次のとおりである。

建物　　８年～18年

その他　２年～20年

これによる減価償却累計額は6,383,906円である。

⑵　無形固定資産

当機構利用のソフトウェアについては、機構内における利用可能期間（５年以内）に基づく定額法を採用している。

２．引当金の計上基準

⑴　賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に充てるため、翌事業年度の賞与支給見込額のうち当事業年度の負担となる額を計上している。

⑵　退職給与引当金

役職員の退職金の支給に備えるため、期末要支給額を基準として計上している。

３．その他財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理方法

税込方式によっている。

２．主たる事業所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　所在地　東京都千代田区大手町一丁目９番２号

⑵　担当部署　総務部総務課

⑶　電話番号　03―6262―7370

３．令和７事業年度の事業報告の概要

⑴　預金保険法に基づく業務

①　保険料収納の状況

保険料　2,044億円